

イ. 研究業績 (英語)

● 査読有り

1. Folk Theorem under Bankruptcy (with Carmen Bevia and Luis Corchon), **Journal of Mathematical Economics**, forthcoming.
2. Moral Hazard and Subjective Evaluation (with Shingo Ishiguro), **Journal of Economic Theory**, Vol.209, April 2023.
3. Oligopolistic Equilibrium and Financial Constraints (with Carmen Bevia and Luis Corchon), **RAND Journal of Economics**, Vol.51, Issue.1, pp.279-300, 2020.
4. Bankruptcy is an Inevitable Fate of Repeated Investments with Leverage (with Momoka Nii, Takuya Okabe, Hiromu Ito, Satoru Moria, and Jin Yoshimura), **Scientific Reports**, Vol.9, #13745, 2019.
5. Strategy-proof Matching with Regional Minimum and Maximum Quotas (with Masahiro Goto, Atsushi Iwasaki, Yujiro Kawasaki, Ryoji Kurata, and Makoto Yokoo), **Artificial Intelligence**, Vol.235, pp.49-57, 2016.
6. Expanding “Choice” in School Choice (with Atila Abdulkadiroglu and Yeon-Koo Che), forthcoming, **American Economic Journal: Microeconomics**, Vol.7, No.1: 1-42, 2015.
7. Strategy-proof Matching with Regional Minimum Quotas (with Masahiro Goto, Naoyuki Hashimoto, Atsushi Iwasaki, Yujiro Kawasaki, Suguru Ueda, and Makoto Yokoo), **AAMAS2014** (Full Paper): 1225-1232, 2014.
8. Instability in The Hotelling’s Non-price Spatial Competition Model, **Theoretical Economics Letters**, Vol.3, No.3A: 7-10, 2013.
9. Resolving Conflicting Preferences in School Choice: The “Boston Mechanism” Reconsidered (with Atila Abdulkadiroglu and Yeon-Koo Che), **American Economic Review**, Vol.101, No.1: 399-410, 2011.

- 招待投稿

1. The Ultimate Objective of the Development Process: Pursuit of Material Wealth versus Societal Well-Being, in **The world in 2050: Striving for a more just, prosperous, & harmonious global community**, Oxford University Press, Chapter 16: 369-376, 2016.
2. Comment on “Asian Participation and Performance at the Olympic Games,” **Asian Economic Policy Review**, Vol.11, No.1: 93-94, 2016.

- ワーキングペーパー

1. Robust Exchange (with Yuichiro Kamada), 2024.
2. Anything Goes in Squid Game: Sequential Voting with Informed and Uninformed Voters (with Yuichiro Kamada), 2023.
3. Matching with Existing Partners (with Joana Pais), 2022.
4. Inspecting Cartels over Time: with and without Leniency Program (with Takako Fujiwara-Greve), 2022.
5. A Lattice-Theoretical Optimization Approach to Nash Equilibria in Two-Person Games, 2021.
6. Misalignment between Test Scores and Colleges’ Preferences: Chinese College Admission Reconsidered (with Yuanju Fang), 2021
7. Matching with Subjective and Objective Evaluations (with Yuanju Fang), 2021.
8. On The Folk Theorem in Self-Sustained Communities (with Takako Fujiwara-Greve), 2021.
9. Competitive Market Achieves the Greatest Happiness of the Minimum Number, 2016.
10. Exit Option Can Make Cooperation Easier (with Takako Fujiwara-Greve), 2015.
11. Efficiency and Stability in Strategy-proof Matching Mechanisms under Regional Constraints (with Masahiro Goto, Atsushi Iwasaki, Yujiro Kawasaki and Makoto Yokoo), 2015.
12. Tiers, Preference Similarity, and the Limits on Stable Partners (with Michihiro Kandori and Fuhito Kojima), 2010.
13. Selective Cooperation under Payoff Fluctuations (with Takako Fujiwara-Greve), 2013.
14. Repeated Cooperation with Outside Options (with Takako Fujiwara-Greve), 2011.
15. Understanding Stable Matchings: A Non-Cooperative Approach, (with Michihiro Kandori and Fuhito Kojima), 2008.
16. The 40% Handicap Auction, 2008.
17. The Theory of Collusion under Financial Constraints, 2007.

ロ. 研究業績 (日本語)

● 査読有り

1. 地域制約の下での戦略的操作不可能なマッチングメカニズム, (橋本直幸, 後藤誠大, 上田俊, 岩崎敦, 横尾真氏との共著), **電子情報通信学会論文誌**, J97-D(8), 1336-1346, 2014.
2. オークションによる最適参入規制: 最適参入オークションの理論, **社会科学研究**, Vol.55, No.3-4: 121-138, 2004.

● 招待投稿

1. 二種類の順位が混在するマッチング問題 中国大学入試制度の分析と改革 (方元駒氏との共著), **オペレーションズ・リサーチ**, Vol.67, No.3: 121-127, 2022.
2. キャンセル料とインセンティブ設計の経済学, **現代消費者法**, No.51: 36-42, 2021.
3. 経済学で考える市場を通じた分配の可能性, **法律時報**, No.1163(5月号): 9-15, 2021.
4. 「イノベーターのジレンマ」のゲーム理論的解明, **オペレーションズ・リサーチ**, Vol.65, No.5: 266-270, 2020.
5. 持続可能性と資本主義の未来 格差・技術・環境から考える, **財政と公共政策**, Vol. 66: 2-20, 2019.
6. 5つの「なぜ?」でわかるノーベル経済学賞, **一橋ビジネスレビュー**, Vol.65, No.1: 86-99, 2017.
7. 学校選択問題のマッチング理論分析, **現代経済学の潮流 2014**, 東洋経済新報社, 第3章: 129-180, 2014.
8. マッチング・マーケットデザインの理論と実践, **第25回 RAMP シンポジウム予稿集**, 2013.
9. マーケットデザインの理論と実践, **一橋ビジネスレビュー**, Vol.61, No.1: 6-21, 2013.
10. マーケットデザインの進展と学校選択制への応用, **新世代法政策学研究**, Vol.15: 345-384, 2012.
11. 財政と金融の連動 — 経済・金融・国債の見方, **ジュリスト**, No.1431 (10月15日号): 50-55, 2011.
12. 電子マネーとポイントカードのスイッチングコスト分析, **オペレーションズ・リサーチ**, Vol.55, No.1: 19-24, 2010.

● 査読無し

1. レーティングの仕組みは経済理論で創る — エコノミクスデザインの実践, **経済セミナー**, No.731, 2023.
2. 【座談会】経済学実践のフロントランナーに聞くキャリアとビジネスの創り方, **経済セミナー**, No.731, 2023.
3. 高額転売の何が問題か? — 「需要法則」からの接近 (特集: 経済学の常識、世間の常識), **アステイオン**, Vol.096, 2022.
4. 日本経済学会サテライトイベント 2021 年秋 経済学の学び方・活かし方, **経済セミナー**, No.725, 2022.
5. 日本経済学会サテライトイベント 2020 年秋 経済学について知ろう!, **経済セミナー**, No.719, 2021.
6. 資本主義を救う「急進的な市場主義」という処方箋 (世界の思潮), **アステイオン**, Vol.092, 198-202, 2020.
7. 経済学を学び、経済学で生きる, **経済セミナー増刊: 本当に伝えたい経済学の魅力**, 日本評論社, 2019.
8. マッチング理論に何ができるか (やさしい経済学), **日本経済新聞**, 9月8日-20日, 2017.
9. スポーツに潜む戦略的思考, **経済セミナー**, No.695, 2017.
10. ゲーム理論, **ものづくりに役立つ経営工学の事典 180 の知識**, 朝倉書店, 2014.
11. 集団行動の法則 (やさしい経済学), **日本経済新聞**, 12月17日-31日, 2013.
12. マッチングの数理, **数学セミナー**, No. 618, 2013.
13. 周波数オークション設計の課題 — 正直な入札行動導く制度に (経済教室), **日本経済新聞**, 5月31日, 2012.
14. 経済学で出る包絡線定理 (共著), **経済セミナー**, No. 662, 2011.
15. 復興を考えると時経済学の視点から見えてくること (共著), **経済セミナー増刊: 復興と希望の経済学**, 2011.
16. ソブリンリスクと財政再建 (経済教室), **日本経済新聞**, 3月4日, 2010.
17. 「ゲーム理論」で読むバブル経済 (やさしい経済学), **日本経済新聞**, 7月14日 - 7月24日, 2009.
18. マッチング・マーケットデザイン (共著), **経済セミナー**, No.647, 2009.
19. 注目集まる「マーケット・デザイン」 — 欧米の制度設計で適用 (経済教室), **日本経済新聞**, 6月5日, 2008.

八. 著書

● 編著

1. 改訂版 経済学で出る数学 — 高校数学からきちんと攻める (共編著), 日本評論社, 2013.

2. 学校選択制のデザイン — ゲーム理論アプローチ, NTT 出版, 2010.

● 共著

1. 日本の未来、本当に大丈夫なんですか会議 経済学×社会学で社会課題を解決する, 日本実業出版社, 2024(近刊予定).
2. 経済学者と「戦略」を遊ぶ『ナショナル エコノミー』 経営者になりきって経済のしくみを実感(第2章), ボードゲームで社会が変わる: 遊戯するケアへ, 河出書房新社, 2023.
3. 新しい経済圏の出現は可能か — 市場・利他・社会規範(第1章), 「2030年日本」のストーリー: 武器としての社会科学・歴史・イベント, 東洋経済新報社, 2023.
4. DX 推進と規制改革、エビデンスに基づく政策決定の重要性(第3章), 広義の経済安全保障を実現する進化型産業政策の必要性, 中央公論社, 2022.
5. ビジネスパーソンの「武器」としての経済学(第1章), そのビジネス課題、最新の経済学で「すでに解決」しています。 , 日経 BP, 2022.
6. 経済学を伝える(第6章), 現代経済学の潮流 2021, 東洋経済新報社, 2021.
7. 歴史性・普遍性・異質性から見た経済(第三章), 人の資本主義, 東京大学出版会, 2021.
8. 多元化するデータ・エコノミー(第三章), 共鳴する未来 データ革命で生み出すこれからの世界, 河出新書, 2020.
9. 資本主義は人びとを幸せにしているのか?, 人は明日どう生きるのか – 未来像の更新, NTT 出版, 2020.
10. 2030年の世界地図帳 あたらしい経済とSDGs、未来への展望, SBクリエイティブ, 2019.
11. 資本主義はどこへ向かうのか – 格差・日本経済・テクノロジー(第5章), 資本主義はどこに向かうのか – 資本主義と人間の未来, 日本評論社, 2019.
12. フィンテックとは、非金融業のための金融サービス革命(第三章), 誰がFinTechを制するのか, KADOKAWA, 2018.
13. なぜ人は行列に並ぶのか(第2章), 身近な疑問が解ける経済学, 日経文庫, 2014.
14. 安田洋祐先生に経済の“本質”を学ぶ(第3章), 「学問」はこんなに面白い! — 憲法・経済・商い・ウナギ, 星海社新書, 2014.
15. ケータイ買うならどれにする?(Part4)、恋愛に役立つ経済のテクニック(Part6), オイコノミア ぼくらの希望の経済学, 朝日新聞出版, 2014.

16. 社会を変える新しい経済学 – マーケットデザインの挑戦 (第1章), **日本の難題をかたづけよう – 経済、政治、教育、社会保障、エネルギー**, 光文社新書, 2012.
 17. **モバイルバリューの社会システム**, 経済産業調査会, 2011.
 18. **経済セミナー増刊：経済学で出る数学**, 日本評論社, 2008.
 19. **モバイルバリュー・ビジネス — 電子マネー、企業ポイント、仮想通貨の見方・考え方**, 中央経済社, 2008.
- 監訳
 1. **オークション・デザイン ものの値段はこう決める**, 早川書房, 2022.
 2. **ラディカル・マーケット 脱・私有財産の世紀**, 東洋経済新報社, 2019
 3. **レヴィット ミクロ経済学 発展編**, 東洋経済新報社, 2018.
 4. **レヴィット ミクロ経済学 基礎編**, 東洋経済新報社, 2017.
 5. **入門 オークション—市場をデザインする経済学**, NTT 出版, 2017.
 - 監修など
 1. **未来を実装する – テクノロジーで社会を変革する4つの原則**, 英治出版, 2021.
 2. **欲望の資本主義 4 – 不確実性への挑戦：コロナ危機の本質**, 東洋経済新報社, 2020.
 3. **日経ビジネス 日本経済入門 第2版**, 日経 BP, 2019.
 4. **欲望の資本主義 3 – 偽りの個人主義を越えて**, 東洋経済新報社, 2019.
 5. **これからのビジネスマンに絶対必要な教養 テクノロジー見るだけノート**, 2019.
 6. **欲望の資本主義 2 – 闇の力が目覚める時**, 東洋経済新報社, 2018.
 7. **欲望の資本主義 – ルールが変わる時**, 東洋経済新報社, 2017.
 8. **図解ピケティ入門 いちばんやさしい『21世紀の資本』の読み方**, 彩図社, 2015.
 9. **日経ビジネス 日本経済入門 (共監修)**, 日経 BP, 2014.
 10. **経済学で出る数学 ワークブックでじっくり攻める (共監修)**, 日本評論社, 2014.
 - 解説記事
 1. **オークション・デザイン ものの値段はこう決める 監修者解説**, 早川書房, 2022.
 2. **ラディカル・マーケット 脱・私有財産の世紀 日本語版解説**, 東洋経済新報社, 2019

3. レヴィット ミクロ経済学 基礎編 監訳者序文, 東洋経済新報社, 2017.
4. 入門 オークション—市場をデザインする経済学 監訳者解説, NTT 出版, 2017.
5. 欲望の資本主義 序文, 東洋経済新報社, 2017.
6. いつも「時間がない」あなたに 欠乏の行動経済学, 早川文庫, 2017.
7. 年収は「住むところ」で決まる イノベーションと雇用の都市経済学, プレジデント社, 2014.
8. 高度成長, 中央公論社, 2012.

二. 論考・エッセイ・書評

● 読売新聞, 私の3編

1. 令和の会社は人のために, 5月27日, 2024.
2. 明確な破局ない少子化 深刻さ共有されず, 2月29日, 2024.

● 朝日新聞, あすを探る

1. 組織成功の法則「SDG」, 3月25日, 2021.
2. 経済学でお金儲けできる?, 9月24日, 2020.
3. 日本人と会社、進化の機だ, 3月26日, 2020.
4. MMT のアラ探しだけでは, 9月26日, 2019.

● 朝日新聞, 論 × 論 × 論

1. 失敗生かす科学の手法、経営に, 3月6日, 2020.
2. 金融不安定化のリスクを指摘, 12月29日, 2019.
3. 社会実験で政策評価、活用増す, 11月5日, 2019.
4. パリがまねする、日本の駅ナカ, 9月3日, 2019.
5. 政策にデータ活用、保育にも, 6月30日, 2019.
6. 発想の転換、市場を切り開く, 4月28日, 2019.

● Mart, NEWS な言葉

1. 男性の育児休暇, 9月号, 2021.
2. 楽天×日本郵政の提携, 6月号, 2021.
3. 東京一極集中の是正, 4月号, 2021.
4. アクション・プラン, 2月号, 2021.
5. マイナポイント, 11月号, 2020.
6. 新しい生活様式, 8月号, 2020.

7. SDGs, 4月号, 2020.
8. スクールロイヤル制度, 1月号, 2020.
9. サブスクリプションサービス, 10月号, 2019.
10. マイナンバーカード, 7月号, 2019.
11. ふるさと納税, 4月号, 2019.
12. 学童保育, 1月号, 2019.
13. 水道法改正案, 10月号, 2018.
14. 住宅の省エネ基準, 7月号, 2018.
15. 相続制度の改正, 4月号, 2018.
16. 教育訓練給付制度, 1月号, 2018.
17. 日欧 EPA, 10月号, 2017.
18. こども保険, 7月号, 2017..
19. 貯蓄保険, 4月号, 2017.
20. 150万円の壁で生活はどうか?, 2月号, 2017.
21. 積立 NISA, 1月号, 2017.
22. 英国の EU 離脱, 10月号, 2016.

● 週刊ダイヤモンド, 数字は語る

1. 20年, 11月26日号, 2016.
2. 2100億円, 8月27日号, 2016.
3. 21万社, 5月28日号, 2016.
4. 46, 3月12日号, 2016.
5. 1万2279円, 1月9日号, 2016.
6. 4ヶ月, 10月24日号, 2015.
7. 162億ドル, 9月12月号, 2015.
8. 約1677万円, 7月25日号, 2015.
9. 366兆8560億円, 6月13日号, 2015.
10. 500万円, 4月18日号, 2015.
11. 1341万人, 2月28日号, 2015.
12. 63万1000人, 2015.
13. 16~20%, 11月29日号, 2014.
14. ▲1.2%, 10月11日号, 2014.
15. 1401億5000万ドル, 8月9日号, 2014.
16. 177億円, 6月28日号, 2014.
17. 3分の1, 5月17日号, 2014.
18. 12.7, 3月29日号, 2014.

19. 71.3%, 2月8日号, 2014.
20. 4.77倍, 12月14日号, 2013.
21. 11:5, 10月26日号, 2013.
22. 1万4208人, 8月31日号, 2013.
23. 1.41, 7月6日号, 2013.

● **週刊東洋経済**, インセンティブの作法

1. 今日で世界が終わるなら 僕らに何ができるだろう, 9月14日号, 2013.
2. 勝者と敗者の「先送り」 食い違うインセンティブ, 8月10-17日号, 2013.
3. 3点シュートの罠に学べ マクロを動かす「ミクロ」, 7月13日号, 2013.
4. 「空気を読む」に潜む罠 群衆行動が間違える日, 6月15日号, 2013.
5. 人類対コンピュータ 必勝法はどこにある?, 5月18日号, 2103.
6. 出会いとモノにする方法 あえて「見送る」ことの意味, 4月13日号, 2013.
7. お金を使わず幸せに? 物々交換の賢い仕組み, 3月16日号, 2013.
8. アメフトに潜む不公平 攻撃権を競り落とせ!, 2月16日号, 2013.
9. 「不確実性」を買う? 新春「福袋」のカラクリ, 1月19日号, 2013.
10. クリスマスプレゼント、そこに潜むジレンマ!?, 12月15日号, 2012.
11. 理想のパートナーはマッチング理論で..., 11月17日号, 2012.
12. お小遣いルールに学ぶ制度設計の経済学, 10月20日号, 2012.

● **日本経済新聞**, 読書日記

1. 『喜嶋先生の静かな世界』 — 研究者の素顔、生き生きと, 8月27日, 2014.
2. 『勝ち続ける意志力』 — ゲーム世界王者の深い言葉, 8月20日, 2014.
3. 『羊をめぐる冒険』 — 世界の村上春樹にどっぷり, 8月13日, 2014.
4. 『三国志』 — 少年を虜にする歴史大作, 8月6日, 2014.

● **日経ビジネス マネジメント** (監修)

1. 共有知識：対面に勝る意思疎通なし, Autumn, 2009.
2. モラルハザード：賃金だけが報酬ではない, Summer, 2009.
3. 双曲割引：近視眼的なのは当たり前, Spring, 2009.
4. シグナリング理論：学歴もチャネルも効果は同じ, Winter, 2008.
5. マッチング理論：上司を選べるアルゴリズム, Autumn, 2008.
6. ゲーム理論：コンビニ立地と2大政党制の共通点, Summer, 2008.
7. スイッチングコスト：ポイントでお客は損をする, Spring, 2008.

● **イミダス**, 経済理論担当

- 経済学の様々な分野

- * 経済学, ミクロ経済学, マクロ経済学, ゲーム理論, 情報の経済学, 計量経済学, 行動経済学
- ミクロ経済学
 - * 効率的市場仮説, (需要の) 価格弾力性, 機会費用, 合理性, パレート効率的, 完全競争, 市場の失敗
- マクロ経済学
 - * リカードの等価定理, 構造的失業, インフレーション, 成長会計, 名目・実質, クラウディング・アウト, 流動性の罠, 合理的期待
- ゲームの理論/情報の経済学
 - * 期待効用仮説, 収入同値定理, 囚人のジレンマ, 繰り返しゲーム, マーケットデザイン, ナッシュ均衡
- 応用経済学
 - * コースの定理, 投票のパラドックス, ネットワーク外部性, アローの不可能性定理, 寡占, 回帰分析, ベクトル自己回帰モデル, 行動ファイナンス
- その他の記事
 1. Book Review 『Mine (マイン)! 私たちを支配する「所有」のルール』(マイケル・ヘラー、ジェームズ・ザルツマン著), **週刊東洋経済**, 5月25日号, 2024.
 2. Book Review 『WEIRD 「現代人」の奇妙な心理』(ジョセフ・ヘンリック著), **週刊東洋経済**, 3月30日号, 2024.
 3. なぜ市場は不平等を生むのか マーケットデザインから結婚格差を分析する (特集2: 「男女の格差」の死角), **Voice**, 1月号, 2024.
 4. Book Review 『戦争と交渉の経済学』(クリストファー・ブラットマン著), **週刊東洋経済**, 10月7日号, 2023.
 5. Book Review 『信頼の経済学』(ベンジャミン・ホー著), **週刊東洋経済**, 8月12-19日号, 2023.
 6. FP 課外ゼミナー 一緒に学ぶ ゲーム理論入門講座, 第1回 - 第6回, **FP ジャーナル**, 6月号 - 11月号, 2023.
 7. Book Review 『グリーン経済学』(ウィリアム・ノードハウス著), **週刊東洋経済**, 2月25日号, 2023.
 8. Book Review 『格差の起源』(オデッド・ガロー著), **週刊東洋経済**, 11月19日号, 2022.
 9. 臓器提供や学校選択に活用 経済学で考える「交換」の仕組み, **日経 BOOK プラス**, 7月19日, 2022.
 10. ノーベル経済学賞「オークション」方式は大失敗から生まれた, **日経 BOOK プラス**, 7月15日, 2022.
 11. アマゾンが経済学の博士を100人雇う理由, **日経 BOOK プラス**, 4月26日, 2022.
 12. ビジネススクールでも教えてくれない、武器としての経済学, **日経 BOOK プラス**, 4月25日, 2022.

13. 経済格差を解決する糸口は、“平均からブレた分析”から見つかるかもしれない, *essense*, 9月26日, 2021.
14. 今年のノーベル賞受賞者は現実と理論に多大な貢献, *週刊東洋経済*, 経済学者が読み解く現代社会のリアル (小島武仁氏、鎌田雄一郎氏との共著), 11月2日, 2020.
15. ノーベル賞でわかる「勝者の呪い」の回避方法 現実社会にも貢献したスタンフォードの2人, *東洋経済オンライン*, 10月31日, 2020.
16. 新しい社会のヒント ハイエクで知る社会主義の理想と現実, *週刊東洋経済*, 8月3日, 2020.
17. 若者に蔓延する「社会主義への憧れ」が危険な訳, *東洋経済オンライン*, 8月3日, 2020.
18. ハイエクで知る社会主義の理想と現実, *週刊東洋経済プラス*, 8月3日, 2020.
19. 資本主義を救う「急進的な市場主義」という処方箋, *アステイオン*, Vol.092, 2020.
20. 買い占めに走る消費者は「間抜け」なのか?, *日経ビジネスオンライン*, 3月11日, 2020.
21. <揺らぐ資本主義>個人と社会 ずれる利益, *読売新聞*, あすへの考, 3月1日, 2020.
22. 既得権と独占を壊せ! 自由な社会の作り方 若き天才経済学者が「ラディカル」に提言, *東洋経済オンライン*, 12月20日, 2019.
23. 良くも悪くも「あぶく銭」, 耕論:ポイントカードの裏表, *朝日新聞*, 10月27日, 2018.
24. 負のスパイラルから好循環へ、逆転の時, *躍*, No.36, 関西電力, 2018.
25. 書評:『知性は死なない 平成の鬱をこえて』(與那覇潤, 文藝春秋), *第三文明*, 8月号, 2018.
26. クラウドファンディングが「公益資本主義の希望」になりうる理由 (次なる資本主義を訪ねて, 第4回), *フォーブスジャパン*, 2月27日, 2018.
27. 行動経済学が解き明かす「過労死」2つの真因 (次なる資本主義を訪ねて, 第3回), *フォーブスジャパン*, 2月20日, 2018.
28. 経済学では「世界の半分」を説明できない (次なる資本主義を訪ねて, 第2回), *フォーブスジャパン*, 2月13日, 2018.
29. 昨今の「脱成長論」は富裕層の無責任だ (次なる資本主義を訪ねて, 第1回), *フォーブスジャパン*, 2月6日, 2018.
30. 文系数学問題を斬る, *Z-KAI*, 10月, 2017.
31. ファン選別し優先販売を (耕論 ゆがむチケット転売), *朝日新聞*, 6月17日, 2017.
32. 書評:『「トランプ時代」の新世界秩序』(三浦瑠麗, 潮出版社), *第三文明*, 4月号, 2017.
33. 日本企業の「残業好き」が崩壊する意外な理由 気鋭の経済学者が読み解く「ライフ・シフト」, *東洋経済オンライン*, 10月13日, 2016.
34. 特別講義:身近に使えるミクロ経済学, *週刊東洋経済*, 10月1日号, 2016.
35. 「市場で再分配が可能」という前提を疑え 格差問題の議論を通じて見えた市場の限界, *日経ビジネスオンライン*, 3月30日, 2016.
36. 社会の流動性を高め 日本経済の課題を解決, *第三文明*, 2月号, 2016.
37. 大阪大学大学院准教授 安田洋祐氏に聞く, *経営情報学会誌*, Vol.24, No.3, 2015. — Vol.25, No.1, 2016.

38. 経済学と政策をつなぐ、『これからの経済学 マルクス、ピケティ、その先へ』, 経済セミナー増刊, 2015.
39. 「イノベーションの世紀」における日本の課題, 第三文明, 8月号, 2014.
40. 制度分析のこれまでとこれから (青木昌彦氏との対談), 経済セミナー, No.678, 2014.
41. グーグルを最強にした経済理論 (ハル・ヴァリアン氏との対談), 2014~15年版 新しい経済の教科書, 日経 BP ムック, 2014.
42. お金の人間学: 2 「円」もビットコインも同じ (リレーおびにおん), 朝日新聞, 3月12日, 2014.
43. 経済学の現在を知り社会の仕組みを読み解く, 人生が変わる! 読書術, 学研パブリッシング, 2013.
44. マーケットデザイン, 月刊みんぱく, 12月号, 2013.
45. 「マッチング理論」をやさしく読み解く, プレジデント, 1月14日号, 2013.
46. 経済学的思考があなたに与える3つの良い影響, 日経プレミア PLUS, Vol.2, 2012.
47. ノーベル経済学賞、シャプレー教授が発見した驚きのアルゴリズム, 日経ビジネスオンライン, 10月25日, 2012.
48. 歴史学と経済学の交わる場所: 歴史研究と社会科学の接点, (與那覇潤氏との対談), αシノドス, Vol.109 — Vol.111, 2012.
49. 金融危機をマイクロ経済学的に考える, 日経プレミア PLUS, Vol.1, 2012.
50. 復興を考えると経済学の視点から見えてくること (共著), 経済セミナー増刊: 復興と希望の経済学, 2011.
51. 風評被害はこうすれば解消できる: 「情報の経済学」で買い控え問題を読み説く, 日経ビジネスオンライン, 8月22日, 2011.
52. ゲーム理論と財政: 電波オークションの薦め, 日経ビジネス, 2月28日号, 2011.
53. 学校選択制を制度設計の視点から考える, 中学校, No.689 (2月号), 2011.
54. 経済学って、おもしろい? (座談会), 経済セミナー, No.657 (12・1月号), 2010.
55. オークション理論の実践: 検索サイトを支える理論, 日経ビジネス, 8月2日号, 2010.
56. 書評: 『行動ゲーム理論入門』川越敏司, NTT 出版, 経済セミナー, No.655 (8・9月号), 2010.
57. 通貨危機の経済学: ゲーム理論がソロスを制す, 日経ビジネス, 2月8日号, 2010.
58. マーケットデザインが経済を変える: 完全競争市場から離れた経済制度の設計, 経済危機「100年に一度」の大嘘 CONUNDRUM, Summer, 2009.
59. 学校選択制を経済学で考える, 週刊エコノミスト, 1月13日号, 2009.
60. キーワードは「ナッシュ均衡」「ゲーム理論」が分かる5冊, 日経ビジネス Associe, 5月16日号, 2006.

ホ. 学会・研究会報告

- 2024年

- 公立ほこだて未来大学, 同志社大学, UECE Lisbon Meeting #13, 2024 Experiment and Behavior Symposium for Young Scholars (東北財経大学、大連)
- 2023 年
 - EEA-ESEM (バルセロナ), UECE Lisbon Meeting #12
- 2022 年
 - EARIE (ウィーン大学), EEA-ESEM (ポッコローニ大学), Annual Meeting of the Portuguese Economic Journal (アゾーレス), Conference on Economic Design (パドヴァ), リスボン大学, NOVA, グラスゴー大学
- 2021 年
 - 公立ほこだて未来大学, GAMES2020 (ブダペスト、ヴァーチャル開催), 第2回「マーケットデザインの実践」コンファレンス
- 2020 年
 - ESWC2020 (ミラノ、ヴァーチャル開催)
- 2019 年
 - マーケットデザイン研究会：中之島ワークショップ, 日本 OR 学会関西支部シンポジウム, 早稲田大学, CTW (弘前大学), NASMES (シアトル), 京都大学財政学研究会, 台湾大学
- 2018 年
 - 京都大学経済学研究所, 大阪大学 (BBL セミナー), China Meeting of Econometric Society (上海), 近畿大学
- 2017 年
 - The 10th Pan Pacific Game Theory Conference and TGU Empirical Analyses of Political Economy Symposium (早稲田大学), EEA-ESEM (リスボン),
- 2016 年
 - 第三回 GCKE (青島), 実験社会科学カンファレンス (同志社大学), 日本経済学会秋期大会 (早稲田大学), EEA-ESEM (ジュネーブ), 東京大学, ニューサウスウェールズ大学, オーストラリア国立大学, 大阪大学社会経済研究所
- 2015 年
 - 東北大学, 北海道大学, 筑波大学, 神戸大学 (夏期集中講義), SWET(小樽商科大学), 日本 OR 学会春期研究発表会 (東京理科大学), 横浜国立大学, 経営情報学会秋季全国研究発表大会, チュラロンコン大学
- 2014 年
 - OEIO (大阪大学), 名古屋大学, マーケットデザイン・ワークショップ (大阪大学社会経済研究所), 日本建築学会 (神戸大学), EARIE (ポッコローニ大学), AMES (Academia Sinica), SICE 第1回制御部門マルチシンポジウム (電気通信大学)

- 2013 年
 - First International Workshop on Market Design Technologies for Sustainable Development (慶應大学), 京都大学経済研究所, RAMP シンポジウム (鹿児島大学, 招待講演), 日本経済学会秋期大会 (神奈川大学, 招待講演), Economic Science Association, シンガポール国立大学
- 2012 年
 - マーケットデザイン・ワークショップ (GRIPS), JICA 研究所, 広島大学, 公正取引委員会: 競争政策センター, GAMES2012 (イスタンブール), SAET (クイーンズランド大学), 一橋大学, 契約理論ワークショップ (大阪)
- 2011 年
 - Academia Sinica, EARIE (ストックホルム), EEA-ESEM (オスロ大学), 北海道大学, IIOC (ボストン), ゲーム理論ワークショップ (名古屋大学), 香港大学, 財務省, FASID
- 2010 年
 - 日独先端科学シンポジウム (ポツダム), 上智大学, 公正取引委員会競争政策センター, SAET (シンガポール), Second Brazilian Workshop of the Game Theory Society (サンパウロ大学), 早稲田大学, 日本経済学会春期大会 (招待講演), 仮想制度研究所, 神戸大学
- 2009 年
 - Academia Sinica, バルセロナ自治大学, カルロス三世大学, UECE Lisbon Meeting 2009, 日本政策投資銀行, 岡山大学, GRIPS, EARIE09 (リュブリャナ大学), EEA-ESEM (バルセロナ自治大学), OEIO (東京大学), SWET (北海道大学), 契約理論ワークショップ (北海道大学), FESAMES (東京大学), 契約理論ワークショップ (京都大学), 日本大学, 東京工業大学, 横浜国立大学, 早稲田大学, IIOC (ボストン), ITPU 国際ワークショップ (東京大学), エディンバラ大学
- 2008 年
 - 富山大学, 仮想制度研究所, サーチ理論ワークショップ (関西大学), 公正取引委員会: 競争政策センター, 日本銀行: 金融研究所, 筑波大学, ポリシーモデリングワークショップ (GRIPS), 日本経済学会秋期大会, EARIE (トゥールーズ大学), EEA-ESEM (ボッコニー大学), GAMES2008 (ノースウエスタン大学), IIOC (ワシントン D.C.), 名古屋大学, 大阪大学社会経済研究所
- 2007 年
 - 東北大学, 香港科学技術大学, 契約理論ワークショップ (関東学院大学), 慶應大学, 京都大学: 経済研究所, 一橋大学, EEA-ESEM (ブダペスト), 2007 KES / 延性大学ミニワークショップ, FEMES (台北), NASMES (デューク大学)
- 2006 年以前
 - コロンビア大学, プリンストン大学, EEA-ESEM (ウィーン大学), 日本経済学会春期大会 (福島大学), 大阪大学 (2005 年), プリンストン大学 (2004 年), 東京大学 (2002 年)

へ. 査読協力

- 英文ジャーナル

- American Economic Journal: Microeconomics, American Economic Review, BE Journal of Theoretical Economics, Econometrica, Economic Theory, Economics Letters, European Economic Review, Games and Economic Behavior, Hitotsubashi Journal of Economics, International Economic Review, International Journal of Economic Theory, Japan and World Economy, Japanese Economic Review, Journal of Economic Theory, Journal of European Economic Association, Journal of the Japanese and International Economies, Journal of Mathematical Economics, Journal of Public Economic Theory, Journal of Public Economics, Mathematics of Social Science, National Science Foundation (Grant, US), Quarterly Journal of Economics, Review of Economic Design, Review of Economic Studies, Research Grants Council (Grant, Hong Kong), Singapore Economic Review, Social Choice and Welfare, Southern Economic Journal, Theoretical Economics, Theoretical Economics Letters.

- 和文ジャーナル

- 応用地域学研究, 現代経済学の潮流, 社会技術研究論文集, 日本ソーシャルデータサイエンス学会論文誌, レヴァイアサン, InfoCom REVIEW

ト. 研究会参加

- 政府系委員会

1. 総務省：総合通信基盤局「デジタルビジネス拡大に向けた電波政策懇談会」, 2023 - 現在.
2. 総務省：情報通信政策研究所「安心・安全なメタバースの実現に関する研究会」, 2023 - 現在.
3. 内閣府：地方創生推進事務局「国家戦略特区ワーキンググループ」, 2022 - 現在.
4. 総務省：情報通信政策研究所「情報通信経済研究会」, 2021 - 現在.
5. 総務省：情報通信政策研究所「Web3 時代に向けたメタバース等の利活用に関する研究会」, 2022 - 2023.
6. 経済産業省：環境経済室「GX リーグにおける排出量取引に関する学識有識者検討会」, 2022 - 2023.
7. 環境省：中央環境審議会地球環境部会「カーボンプライシングの活用に関する小委員会」, 2018 - 2023.
8. 経済産業省：産業構造審議会「2050 経済社会構造部会」, 2018 - 2020.
9. 自由民主党：未来戦略研究会, 2017 - 18.
10. 環境省：地球環境局「カーボンプライシングのあり方に関する検討会」, 2017 - 18.
11. 経済産業省：産業技術環境局「長期地球温暖化対策プラットフォーム」, 2016 - 17.
12. 金融庁：金融審議会「決済業務等の高度化に関するワーキング・グループ」, 2015 - 16.

13. 科学技術振興機構：サービス学将来検討会, 2014 – 16.
 14. 金融庁：金融審議会「決済業務等の高度化に関するスタディグループ」, 2014 – 15.
 15. 内閣府：内閣官房行政改革推進本部事務局「国・行政のあり方に関する懇談会」, 2013 – 14.
 16. 経済産業省：資源エネルギー庁「原油価格研究会」, 2008 – 09, 2012 – 13.
 17. 財務省：関税局「関税政策等研究会」, 2012 – 不明.
 18. 財務省：財務総合政策研究所「財政・マクロ経済研究会」, 2012 – 不明.
- その他の委員会・研究会
1. NTT ドコモ：モバイルビジネス研究会, 2019 – 現在.
 2. NTT 西日本：メディア融合研究会, 2019 – 現在.
 3. 立命館大学稲盛経営哲学研究センター：「人の資本主義」研究プロジェクト, 2018 – 現在.
 4. スーパー JSAT 株式会社：番組審議会, 2018 – 現在.
 5. 東京大学公共政策大学院：金融資本市場のあり方に関する産官学フォーラム, 2017 – 現在.
 6. 信託協会：信託経済研究会, 2017 – 現在.
 7. NTT 東日本：データ主導経済における通信事業戦略に関する研究会, 2016 – 現在.
 8. NTT 持株会社：各産業分野における競争戦略の在り方に関する研究会, 2012 – 現在.
 9. 日本学術会議：経済学委員会「持続的発展のための制度設計」分科会, 2018 – 2023.
 10. サントリー文化財団：「2020 年代の日本と世界」研究会, 2017 – 2023
 11. 国際経済交流財団：進化型産業政策研究会, 2021 – 22.
 12. 関西経済連合会：関西ビジョン 2030 検討会, 2020 – 21.
 13. 朝日新聞論壇委員, 2019 – 21.
 14. テレビ大阪：放送番組審議会, 2019 – 21.
 15. 金融リテラシー研究会（座長）, 2016 – 18.
 16. 東京金融取引所：金融市場調査会, 2012 – 18.
 17. オークション・マーケットデザインフォーラム（AMF）, 2012 – 不明.
 18. 三菱総合研究所：新たな電波の割当方式の在り方に関する検討会, 2013 – 14.
 19. 情報総合通信研究所：将来市場の不確実性と通信政策の在り方に関する研究会, 2012 – 14.
 20. 野村総合研究所：電波の経済的価値に関する調査検討会, 2012 – 13.
 21. NTT ドコモ・モバイル社会研究所：モバイルバリュー調査研究会, 2007 – 10.